

2020年7月8日

さいたま市教育委員会
教育長 細田 眞由美様

さいたま市教職員組合
執行委員長 大澤 博

小学校英語民間試験導入について 公開質問状

盛夏の候、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。貴職におかれましては、日頃の教育活動へのご尽力に感謝申し上げます。

さて、6月10日付けで各学校に「英語トライアル実施について（依頼）」の文書が届きました。この文書には民間英語試験がすでに実施されるものとして、実施希望日の報告書（6月23日までに提出）が添付されていました。しかも実施日として、コロナ感染症拡大への配慮がまだまだ必要だと思われる8月31日から9月4日までの期間が設定されており、大変驚いた次第です。

周知のとおり、今年度の大学入学試験では英語民間試験の導入が中止されました。ここに至るまで様々な問題点が露呈され、それらは何ら解決されていません。なぜわざわざ市内小学6年生全員に英語民間試験を受けさせるのか。実施の根拠が不明で、教育行政として説明責任があると考えます。同時に、すでに実施されている中学校民間試験についても、抱える問題は同様です。

今年度、休校や児童への配慮のため全国学力調査さえ中止されています。その中でなぜ新規テストを実施するのですか。「子どものケアに全力を込める」とは言葉ばかりで、子どもの顔すら見る前の段階で試験実施の準備を着々と進めてきたことは、大きな問題であると言わざるを得ません。子どもたちは突然の休校、学習負担、様々な制約下での生活に疲弊しています。この上、更に不要不急の試験で子どもたちを追い詰めることはあってはなりません。

先日の「医療従事者への拍手」の取り組みが、市教委で決定したことを各学校に行かせたとして広範な市民から批判の声があげられましたが、今回の決定と実施の過程にも同様の問題を感じます。今、教育行政が行うことは、子どもたちのいのちと健康を守り、学ぶ喜び・教える喜びを実感できる教育条件整備を進めることではないでしょうか。そのために予算を使い、英知を結集させていく必要があります。今回の小学校英語民間試験の導入は本当に必要なことなのか。今行うことなのか。

こうした疑問について、公開質問状を作成いたしました。さいたま市教育委員会の示した試験実施日まであまりにも期間が短いために、当然この回答についても迅速な回答を求めます。大変ご多忙の折とは存じますが、7月20日を期日とし、誠意あるご回答をお願いいたします。

記

- 1 今年度の大学入試で導入予定だった英語民間試験が中止になりましたが、それが中止になった原因をどう考えておられるのですか。特に、各界からあれほどまでに反対世論が高まった理由をどのように捉えておられるのですか。
- 2 小学校英語民間試験の導入と意図
 - (1) 民間の4技能試験利用については、公平性や客観性等の面で様々な課題が指摘されています。にもかかわらず、全6年生を対象にどうして民間の4技能試験を行うのですか。それを行わないと、どうしてGSのカリキュラム等の検討ができないのですか。

- (2) 試験結果によって、例えば得点の低い技能の習熟を図るため年間計画等の見直しが行われるのですか。
- (3) すでに実施されている中学校の英語検定協会「IBA」やベネッセ「GTEC」などの民間試験についても、導入した意図をお答えください。また、様々な問題点が明らかになった今、今後の扱いをどうされているのかお答えください。
- (4) 数ある民間英語試験の中で「英語トライアル」を選定した基準、理由をお答えください。同様に中学校で「IBA」や「GTEC」を導入した基準、理由についてもご回答ください。
- 3 今年度、休校や児童への配慮のために全国学力調査等が中止になりました。多くの授業や活動が削られ、土曜授業8回の実施、長期休暇も短縮される中で、なぜ今年この時期に新規テストを実施するのですか。
- 4 今回の民間試験実施の決定過程と実施の伝達について
- (1) 今回の試験はいつ誰が発案し、どのような会議を経て決定されたのですか。その会議の参加者、議事録を公開してください。
- (2) 決定の過程で、各学校関係者（学校長、GS担当者等）とはどのような相談をして決めたのですか。それとも教育委員会が独断で決定したのですか。
- (3) すでに実施されている中学校での民間英語試験についても、上記（1）、（2）の回答を求めます。
- (4) 6月10日付資料に、保護者向けの配布文例が添付されていましたが、決定した市教育委員会から保護者への説明は行わないのですか。「詳細は、別紙児童向け案内ちらしもご覧ください」とありますが、添付されているものには「詳細」は記述されていないと思われます。
- (5) 今回の試験実施に関してマスコミ発表は行うのですか。その判断理由と合わせてお答えください。
- 5 この「英語トライアル」というのはどのような形式のテストなのですか。回答の仕方はどのようなものなのですか。支援を要する児童にはどのような配慮がなされるのですか。
- 6 実施後に、個人や学校に対してどのように結果が戻るのですか。また、教育委員会はどのような結果を見ることができるのですか。更にそれをどのように活用する予定なのですか。
- 7 民間団体や教育委員会内で、児童生徒の成績や個人情報などがどのように管理されるのですか。
- 8 民間英語試験に関わる費用について
- (1) 「英語トライアル」実施には児童一人当たりの費用はいくらですか。また市としては総額いくら支出する予定ですか。今後費用が変わった場合も継続して支出する予定ですか。
- (2) すでに実施されている中学校の民間試験についても生徒一人当たりの費用と全体の総額（事後指導や各種フォーラム等の費用も含めて）の回答を求めます。
- 9 「英語トライアル」実施にあたり、各学校で準備に必要な作業、返却やフィードバックなどの時間はどの程度になると考えておられますか。
- 10 今後、さいたま市立学校において民間英語試験を継続して行う予定ですか。学年を広げたり経年変化を測定したりすることを検討しておられるのですか。